



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月9日

上場会社名 オカモト株式会社
 コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 俊夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 高島 寛

TEL 03-3817-4121

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	62,855	10.5	6,024	9.2	7,149	6.1	4,752	34.9
2020年3月期第3四半期	70,254	1.0	6,637	11.5	7,612	12.3	3,523	43.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 5,904百万円 (37.2%) 2020年3月期第3四半期 4,304百万円 (2.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	253.49	
2020年3月期第3四半期	186.09	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	109,513	67,746	59.3
2020年3月期	104,081	63,838	58.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 64,988百万円 2020年3月期 61,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		50.00		50.00	100.00
2021年3月期		50.00			
2021年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	83,500	7.7	6,000	18.3	7,000	18.1	4,600	31.8	245.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	19,599,367 株	2020年3月期	19,599,367 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	889,337 株	2020年3月期	799,519 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	18,746,579 株	2020年3月期3Q	18,934,640 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化し、経済活動が制限され、様々な事業領域において企業収益は大幅に落ち込みました。緩やかに回復の兆しを見せていた個人消費も再び感染が拡大傾向に転じたことにより厳しい状況で推移し、景気の先行きは依然として不透明な状況となっております。

このような経営環境のなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症感染防止の対策として、在宅勤務・時差出勤の実施、お客様との対面による営業活動の自粛等の取り組みを継続しながら、衛生資材等の安定的な供給と全体的な在庫の圧縮に努め、事業活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は62,855百万円（前年同期比10.5%減）となりました。利益につきましては、市況の低迷による工場稼働率の低下により営業利益は6,024百万円（前年同期比9.2%減）、経常利益は7,149百万円（前年同期比6.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,752百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 産業用製品

一般用フィルムは、新型コロナウイルス感染症対策としての飛沫飛散防止用途における需要が堅調で売上増となりました。工業用フィルムは、輸出向けの取扱いが回復傾向で売上増となりました。建材用フィルムは、顧客での新規開発案件の延期及び稼働低迷の影響で販売減となりました。多層フィルムは、産業用フィルムの受注が低調なため売上減となりました。壁紙は、住宅着工件数の減少及び競争激化の影響で売上減となりました。農業用フィルムは、作物価格下落による需要家の設備投資抑制の影響を受け売上減となりました。自動車内装材は、各自動車メーカーの急激な生産調整からは回復の兆しが見られますが、上期の落ち込みを挽回できずに売上減となりました。フレキシブルコンテナは、石油化学メーカー向けの需要が減少し売上減となりました。粘着テープは、梱包用テープの販売が振るわず売上減となりました。工業用テープは、電材用及び車輛用テープの需要が減少し売上減となりました。食品衛生用品は、衛生用品の取扱いは堅調となりましたが、ラップフィルムは外食産業・ホテル業界の低迷により売上減となりました。食品用吸水・脱水シートであるピチット製品は、食品スーパー向け及び好漁による鮮魚輸送向けが下支えているものの、外食産業向けが振るわず売上微減となりました。研磨布紙等は、研磨材のハードディスク表面加工用の採用中止により売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は39,077百万円（前年同期比12.9%減）、セグメント利益は2,292百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

② 生活用品

コンドームは、訪日外国人によるインバウンド需要が低迷し売上減となりました。浣腸は、新商品の上市により売上微増となりました。除湿剤は、新規取扱い企業が増加したことにより売上増となりました。カイロは、比較的気温の高い日が続いたことにより売上減となりました。手袋は、家庭用で新商品が堅調で、また医療用及び産業用でも感染症対策需要により売上増となりました。メディカル製品のうち滅菌器は、取扱い台数増加により売上増となりました。ブーツ及び雨衣は、比較的気温の高い日が続いたことにより防寒商品の引き合いが鈍く売上減となりました。シューズは、直営店をオープンさせ新たな販売チャネルの開拓を行っておりますが、紳士革靴市場全体の消費動向の回復が遅く売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は23,606百万円（前年同期比6.3%減）、セグメント利益は4,979百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

③ その他

その他事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（振替前）は2,760百万円（前年同期比3.8%減）、セグメント利益は236百万円（前年同期比24.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は109,513百万円で、前連結会計年度末と比べ5,431百万円増加しております。

流動資産は68,125百万円で、前連結会計年度末と比べ3,282百万円の増加となりました。これは主として、受取手形及び売掛金3,005百万円、電子記録債権809百万円が増加し、現金及び預金544百万円、商品及び製品571百万円が減少したことによるものです。

固定資産は41,387百万円で、前連結会計年度末と比べ2,149百万円の増加となりました。これは主として、無形固定資産721百万円、投資有価証券2,544百万円が増加し、有形固定資産544百万円、繰延税金資産482百万円が減少したことによるものです。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は41,766百万円で、前連結会計年度末と比べ1,523百万円増加しております。

流動負債は31,200百万円で、前連結会計年度末と比べ641百万円の増加となりました。これは主として、支払手形及び買掛金764百万円、短期借入金65百万円、未払法人税等1,013百万円が増加し、賞与引当金517百万円、災害損失引当金700百万円が減少したことによるものです。

固定負債は10,566百万円で、前連結会計年度末と比べ882百万円の増加となりました。これは主として、繰延税金負債349百万円、退職給付に係る負債173百万円、その他が335百万円増加したことによるものです。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は67,746百万円で、前連結会計年度末と比べ3,908百万円増加しております。これは主として、利益剰余金2,876百万円、その他有価証券評価差額金1,718百万円が増加し、為替換算調製勘定が528百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績につきましては、最近の決算短信(2020年11月6日発表)により開示を行った業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,202	26,658
受取手形及び売掛金	16,834	19,839
電子記録債権	6,789	7,598
商品及び製品	7,872	7,300
仕掛品	2,002	2,147
原材料及び貯蔵品	2,782	2,966
その他	1,389	1,640
貸倒引当金	△30	△26
流動資産合計	64,842	68,125
固定資産		
有形固定資産	21,998	21,453
無形固定資産	461	1,183
投資その他の資産		
投資有価証券	15,473	18,018
繰延税金資産	615	132
その他	716	606
貸倒引当金	△27	△5
投資その他の資産合計	16,778	18,750
固定資産合計	39,238	41,387
資産合計	104,081	109,513

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,020	20,784
短期借入金	3,451	3,517
未払法人税等	343	1,356
賞与引当金	1,058	541
災害損失引当金	728	28
建物解体費用引当金	-	315
その他	4,957	4,657
流動負債合計	30,559	31,200
固定負債		
長期借入金	216	239
繰延税金負債	1,515	1,864
退職給付に係る負債	7,002	7,176
その他	950	1,285
固定負債合計	9,683	10,566
負債合計	40,243	41,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,047	13,047
資本剰余金	448	518
利益剰余金	45,658	48,535
自己株式	△3,173	△3,655
株主資本合計	55,981	58,446
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,283	7,002
繰延ヘッジ損益	8	△2
為替換算調整勘定	159	△368
退職給付に係る調整累計額	△184	△88
その他の包括利益累計額合計	5,268	6,542
非支配株主持分	2,588	2,757
純資産合計	63,838	67,746
負債純資産合計	104,081	109,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	70,254	62,855
売上原価	52,254	46,368
売上総利益	17,999	16,486
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,838	2,629
その他の販売費	2,261	1,961
給料及び賞与	2,974	2,937
賞与引当金繰入額	220	187
退職給付費用	139	151
その他の一般管理費	2,927	2,594
販売費及び一般管理費合計	11,362	10,462
営業利益	6,637	6,024
営業外収益		
受取利息	23	20
受取配当金	530	511
不動産賃貸料	498	439
持分法による投資利益	100	167
その他	137	212
営業外収益合計	1,290	1,351
営業外費用		
支払利息	19	20
不動産賃貸費用	86	74
為替差損	147	51
その他	62	80
営業外費用合計	315	226
経常利益	7,612	7,149
特別利益		
固定資産売却益	1	7
投資有価証券売却益	-	29
その他	0	-
特別利益合計	1	36
特別損失		
固定資産売却損	-	0
減損損失	120	53
災害による損失	2,724	-
建物解体費用引当金繰入額	-	430
固定資産除却損	1	8
操業休止関連費用	-	101
特別損失合計	2,846	593
税金等調整前四半期純利益	4,767	6,592
法人税、住民税及び事業税	1,456	1,786
法人税等調整額	△214	144
法人税等合計	1,241	1,931
四半期純利益	3,525	4,661
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△90
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,523	4,752

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	3,525	4,661
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	970	1,673
繰延ヘッジ損益	△3	△12
為替換算調整勘定	△305	△536
退職給付に係る調整額	109	95
持分法適用会社に対する持分相当額	7	22
その他の包括利益合計	779	1,243
四半期包括利益	4,304	5,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,315	6,026
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	△122

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社は、新型コロナウイルス感染症の事業への影響が2021年3月期の一定の時期に収束するとの仮定のもと、会計上の見積り（固定資産の減損会計の検討や繰延税金資産の回収可能性の評価等）を行っていましたが、再度緊急事態宣言の発出及び延長など、依然として収束時期等が不透明な状況であることを踏まえ、当事業年度末までに終息せず、翌事業年度も一定程度事業への影響が継続するものと仮定を変更いたしました。

当社はこの仮定のもと、会計上の見積り（固定資産の減損会計の検討や繰延税金資産の回収可能性の評価等）を行っております。なお、これによる当社の経営成績および財政状態に与える影響について、現時点において重要性はありません。

(建物解体費用引当金)

連結子会社である理研コランダム株式会社が所有する賃貸用建物の解体を決定し、解体工事に着手いたしました。これに伴い、解体費用の見積額について、「建物解体費用引当金」として当第3四半期連結会計期間の四半期連結貸借対照表の流動負債に計上しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,880	25,201	70,082	171	70,254	—	70,254
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	285	353	2,698	3,052	△3,052	—
計	44,949	25,487	70,436	2,869	73,306	△3,052	70,254
セグメント利益	2,426	5,548	7,975	190	8,165	△1,528	6,637

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,528百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において120百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	39,077	23,606	62,684	171	62,855	—	62,855
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	294	362	2,588	2,951	△2,951	—
計	39,145	23,901	63,046	2,760	65,806	△2,951	62,855
セグメント利益	2,292	4,979	7,272	236	7,508	△1,484	6,024

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,484百万円には、セグメント間取引消去27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,511百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において53百万円であります。